

立体作品 白と銀の世界

年組	番号	コメント
6年1組	1	キャップをつけてトイレットペーパーの芯をつけたらキャラクターらしくなりました。上の2枚の板は、わざと回るようになっています。アルミホイルをちぎってキラキラしたステージにしました。
6年1組	2	時代の波に飲まれていく神社、崩壊した神社の中でくつろぐスプーンをイメージして作りました。階段みたいなもののバランスを取ることや、綿などをくっつけるという作業が難しく、何度も外れ、思っているようにいかないことが多々ありました。神々しさを表現しました。
6年1組	3	雲の上にあるような、壊れて使われていない家をイメージして作りました。白い絵の具を綺麗に見せるために、床の部分の絵の具で模様をつけるのを工夫しました。そして、壁の上にある床の下も木の部分が見えないように白い絵の具で塗りました。
6年1組	4	白い世界では、「白い駅」という題名にしました。現在の駅とは違い、昔の駅をイメージして作りました。見てほしいところは、改札機と線路です。工夫したところは、白い絵の具で線路を塗ったところです。改札機も作りました。入り口の屋根を作るのは大変でした。
6年1組	5	秘密基地をイメージしました。実際にこんな秘密基地があったらいいなと考えながら作りました。バランスが取りにくく、くっつけるのが大変でした。どのようにしたら上手くバランスがとれるのか考え、友達のことを参考にしました。
6年1組	6	「白×銀の世界」というタイトルだったので、白色と銀色にしました。自分が家から持ってきた材料などを、どう使うのかを考えることを頑張りました。見てほしいところは、プチプチを細かく切って雪を表したところです。
6年1組	7	公園から見える大きな天の川の雄大さを表現しました。公園から天の川が見えたらどんなに美しいかを表現するため、アルミホイルを散らばせました。青色の透き通った布でまき、天の川の感じを出しました。
6年1組	8	ピアノの鍵盤をイメージした階段のようなものが一番工夫したポイントです。白色だけでスイーツのようなものを作ったところも見どころです。一番頑張ったのは、ペットボトルキャップを積み上げてブランコを作ったところです。周りにふわふわをつけて、雲の上という感じの雰囲気表現しました。
6年1組	9	この作品はライブ会場をイメージして作りました。僕はあるゲームの沼にハマリ、そのゲームのバーチャル会場を元にして作ろうと思いました。工夫したところはライブ会場にあるブランコです。なぜならブランコを接着剤で固定するものをくっつけるのが難しかったからです。見てほしいポイントは噴水です。なぜ噴水を見てほしいポイントかというと、噴水は予想以上にうまくいったからです。
6年1組	10	飾りを少なくして、ちょっと不思議な感じが出るようにしました。誰もいない静かな空間になるようにしました。網のようなものを真っ白に塗って屋根を作りました。接着剤を線のように発泡スチロールにつけて、作品がより良くなるようにしました。
6年1組	11	ステージの上をイメージしました。工夫したところは、マシュマロみたいな小さなスポンジを柱の中の爪楊枝に刺し、より頑丈にしたことです。もう一つ、工夫したところは、ステージの真ん中にあるマイクです。ステージが小さいから、マイクをとでも小さくしなくてはいけません。小さいスポンジをマイクの部分にして、下のスタンドは細い木を使いました。
6年1組	12	蜘蛛の巣をイメージしました。工夫したところは、接着剤をたらして糸のように伸ばし、少しでも蜘蛛の巣に似せるためにたくさんの糸を作ったところです。階段の部分は、板の大きさが均等になるように切りました。難しかったところは、色を塗るところです。同じ向きに、色を塗って少しでもきれいになるようにしました。

6年1組	13	工夫したことは、ペットボトルに穴を開けたこととそこに串を入れたことです。木の表面はスベスベして、穴の空いている木を一つ入れて組み立てました。
6年1組	14	最初はイメージしないで、いいと思ったようにしました。工夫したところは木のささくれをなくして滑らかにしたところです。とにかくシンプルに作りました。
6年1組	15	白い世界の中にある公園をイメージして作りました。頑張ったことは、ブランコの橋の部分をカネスティックで止めて倒れないようにしたこととパックを切って棒の一つ一つさしたことです。
6年1組	16	ステージをイメージして作りました。横にあるアルミが小さかったので、切るのが大変でした。刀剣男士紋になっているのでよく見てください。
6年1組	17	街をイメージして作りました。実際にありそうな町並みがモチーフです。特に看板をのりでくっつけるのに苦労しました。落ちないように、工夫して看板を貼りました。ビルの窓も工夫しました。看板も多くリアルにしました。
6年1組	18	悩みに悩んで、かなりシンプルな作品を作りました。三つのブロックを釘で繋げて白の絵の具をつけました。最終的には町中にある小さな建物のような感じに仕上げました。
6年1組	19	この作品は、「見るところが全部違う」というイメージで作りました。一番見てほしいところは、自分のイニシャルを割り箸などで作ったところです。自分のイニシャルを自立させるところを工夫しました。友達にアドバイスをもらいながら完成させました。
6年1組	20	作品のテーマは生き物の家です。友達の作品や考えを参考にして作りました。見てほしいところは、生き物を作ったところです。苦労したところは、釘を打つ場所や釘がはみ出てしまったところです。作品を作った感想はかなり大変でしたが、その分かなりいい作品になったと思います。
6年1組	21	雲の上から眺められる展望台をイメージしました。銀色の屋根は、日光や光が当たるときれいに輝き、反射します。私が行ってみたいような世界を作ってみました。雲の上に浮かんでいるのに落ちないという不思議な感じも表現してみました。
6年1組	22	友達の考えを借りて、自分だけの町を作りました。釘を打つことや自分の好きな色や形にすることがとても難しかったです。また白色をきれいにぬることが楽しかったです。いろんなところを白にぬることは大変だったけれど、自分の思うように作ることができてよかったです。また木を立てるときにななめにならないようにして、手でおさえたのがとても辛かったです。
6年1組	23	高い塔と建物みたいなものを作りました。塔が倒れないように接着剤をつけてがんばりました。あとは友達にも材料を借りたりして手助けしてもらって完成できました。
6年1組	24	黒い小さな板みたいなものを置いて、綿みたいな物を被せて、その後、ボンドを上につけました。頑張ったことは、固まるまで待つことです。範囲が大きいので、10分くらい待っていました。
6年1組	25	工夫したところは卵のパックを使って、部屋のようにしたところです。細かいところを白で塗るのが難しかったです。色々な材料を使って、色々な使い方をしました。
6年1組	26	今の日本にある電波塔より不思議な感じを出したかったから、周りにお城みたいなものを作って、棒を建てたり、真ん中に電波を感じ取れるところを作ったりしました。白だけだとつまらないと思ったから、アルミで円を囲むことを頑張りました。友だちに案を一緒に出してもらったから、早めに終わりました。木の柱を糸ノコでカットして、積み上げるのが面白かったです。
6年1組	27	頑張ったところは透明な糸をつけたり、棒を立てたりするところです。友達に棒を立てるところを手伝ってもらったり、白にぬるところなどを手伝ってもらったりしたからきれいに完成することができました。
6年1組	28	神社をイメージして作りました。大変だったところは柱を作るところです。見てほしいところは正面の神社の雰囲気です。本物の神社のように、階段を作ってお参りするところを作りました。
6年1組	29	頑張ったところは、透明な糸をなるべく多く作ったことです。ちょっと物足りないけれど一番見てほしいところはシロアリに食われた木材です。ぼくはみなさんにこの木材を見てほしいです。

6年1組	30	家からいろいろな道具を集めてきました。白や銀の物が少なかったことと、テーマが秘密基地なので、秘密基地にありそうなものをさらに集めたりしました。秘密基地のイメージは、小さいけれど広くて落ち着きがあるイメージですが、白×銀の世界では自分が思いついた秘密基地を作りました。いろいろな所に注目してほしいです。
6年1組	31	私は誕生日が12月なのでクリスマスイメージして作りました。クリスマスツリーをイメージして松ぼっくりをつけました。また、家のような感じにしました。白と銀の世界、なのでホワイトクリスマスを思い浮かべてくれれば嬉しいです。
6年1組	32	火山の化石流を綿で表して、火山がたくさんあることをでこぼこの多い土台で作りました。そして線路や簡易鉄道を作って完成です。頑張ったところは火山のところをうまく白く塗ることでです。
6年1組	33	この作品は船です。ものすごくシンプルに作りました。土台の波をがんばりました。うまくできてよかったです。
6年1組	34	僕が一度は行ってみたい商店街をイメージして作りました。特に作るのが難しかったところは、看板です。看板作りは、一つ一つ同じ大きさにして行くのが一苦勞でした。自分の工作よりうまくできた感じがしました。次からの自由研究では、ダンボールではなく木材で作りたいと思います。
6年1組	35	題名は「別次元のお友達」です。心の中をイメージして作りました。大切な友達を作ったり、心の中にカチカチとふわふわしたものを作ったりもしました。
6年1組	36	白と銀に包まれたハウスをイメージして作りました。細かいところまで白を塗るところなどを頑張りました。「この作品にはこれが合いそう…」などと考えて作りました。よく作品につけているものがとれてしまうので接着剤でしっかりくっつくように作りました。
6年1組	37	僕は、白い階段を作りました。階段を支える棒をいい感じのバランスにするのが難しかったです。板の下にブランコをつけることがとても難しかったです。あとから付けたので穴を開けたときに作品が崩れてしまったから大変でした。
6年1組	38	これは白い家をイメージして作りました。特に階段を作ることが大変でした。また支えや机を作ることも頑張りました。全面を白く塗るのは大変でした。友達に「こうしたらいいんじゃない。」と言われたので、その通りにすると本当にいい感じになったのでよかったです。